

資料②

令和2年度

横浜市公共事業評価委員会に係る道路部会

【道路－2】再評価

都市計画道路川崎町田線（恩田地区）

（道路局）

(様式3)

公共事業再評価調書(案)

番 号	道路-2		事業担当局課	道路局 建設課		
事業名	都市計画道路 川崎町田線(恩田地区)			採択年度	平成8年度	
施工場所	青葉区田奈町52番地先から恩田町1112番地先まで			経過年数	15年	
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>川崎町田線は本市の北部に位置し、本市の新横浜都心から町田市と川崎市に連絡する放射型幹線道路です。</p> <p>本地区は町田市境付近から東京急行田園都市線田奈駅方面へのバイパス区間であり、国道246号へ接続する主要ルートです。本地区の整備により、周辺地域の渋滞を解消し、交通利便性が向上するとともに、安全な歩行空間を確保します。</p> <p>事業概要</p> <p>計画延長1,150m、計画幅員18~25m(車道往復2車線)、用地面積20,800㎡</p>					
			当初 (事業採択時)	変更 (平成23年度)	変更 (平成29年度)	
	事業期間		平成8年度~ 平成21年度	平成8年度~ 平成29年度	平成8年度~ 令和6年度	
	事業費	合 計		5,570(百万円)	5,400(百万円)	5,400(百万円)
		国 費		2,823(百万円)	2,700(百万円)	2,780(百万円)
		市 費		2,747(百万円)	2,700(百万円)	2,620(百万円)
	変更内容		事業費の確保ができなかったため、事業に遅れが出ており、事業期間を延伸しています。			
	上位計画等		本市の「中期4か年計画(2018~2021)」において、「政策36 交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」として、都市計画道路の整備が位置付けられています。			
関連事業		川崎町田線(田奈地区)				
事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化		<p>当路線北側に位置する現道の川崎町田線は、交通量が多く、歩道が狭く一部途切れているため危険な状態です。</p> <p>また、東京急行こどもの国線長津田2号踏切では渋滞が発生し、迂回路として恩田390号線が利用されています。恩田390号線はあかね台中学校や田奈小学校の通学路として使用されており、歩道が狭く、危険な状態であるため歩行者の安全確保が急務となっています。</p>			

事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)			事業全体	残事業
	割引率		4%	—
	総便益(B)		152.4億円	—
	総費用(C)		81.2億円	—
	費用便益比 (B/C)		1.9	—
	感度分析 [交通量 -10%]		1.5	—
	〔定性的効果〕 あかね台交差点から中恩田橋交差点経由で国道 246 号方面に流出入していた交通が、本路線に転換され、交通流の円滑化が図られます。 また、恩田 390 号線等の周辺道路を利用していた交通が本路線に転換されること、新設道路に歩道が整備されることにより歩行者の安全性が向上します。			

事業の 進捗 状況	事業進捗率%	平成 25 年度までに西側区間 100m、東側区間 50m の整備、こどもの国線の立体交差工事を完了しています。 なお、令和元年度までの用地取得率は約 68%、事業進捗率は約 71%です。 令和 2 年度は用地交渉、用地測量及び詳細設計を進めています。また、既買収済み区間の田奈小学校入口交差点から奈良川までの区間の道路築造工事を実施します。
	71%	
	用地取得率%	
	68%	
	供用等の状況	
	無し	
事業の課題 及び進捗 見込み	平成26年度から平成30年度の間、事業費確保が課題でしたが、令和元年度から国費の重点配分事業に位置付けられたことから、これまで以上の進捗を見込んでいます。 また、本路線は農地の中に位置し、既存用水路の切り回しなど、道路整備後の農業継続のための協議に時間を要していましたが、令和 2 年度には 1 団体との協議が完了しましたので、引き続きもう 1 団体との協議を進めます。 事業開始からかなりの時間が経過しているため、権利関係の複雑化の課題がありますが、一部の地権者から前向きな意見をいただいております、今後は用地取得を進めていきます。	
その他 (コスト削減項目 等)	工事施工において、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト削減を行うとともに、舗装の材料に再生材を使用するなど、可能な限りコスト削減に努めます。	
その他	—	

添付資料	有 ・ 無	
対応方針 (案)	継 続	計画通り(上記計画を実施)
		一部見直し(上記計画を変更)
	【見直し内容】	
中 止		

対応方針 (案) とし た理由	<p>国道 246 号方面から町田市方面へ接続する重要な幹線道路であり、早期の事業完了を図る必要性は変わっておりません。</p> <p>また歩行者の安全確保、交通の円滑化のため、継続実施する必要があると判断します。</p>
-----------------------	---

事業概要

都市計画道路川崎町田線(恩田地区)

川崎町田線(恩田地区)
L=1,150m、W=22m
H8年度～R6年度

中恩田橋交差点

田奈地区(事業中)
L=650m、W=22m
H19年度～R5年度

しらとり台さつきが丘地区
(H18年度事業完了)
L=1,080m、W=22m

町田市

あかね台交差点

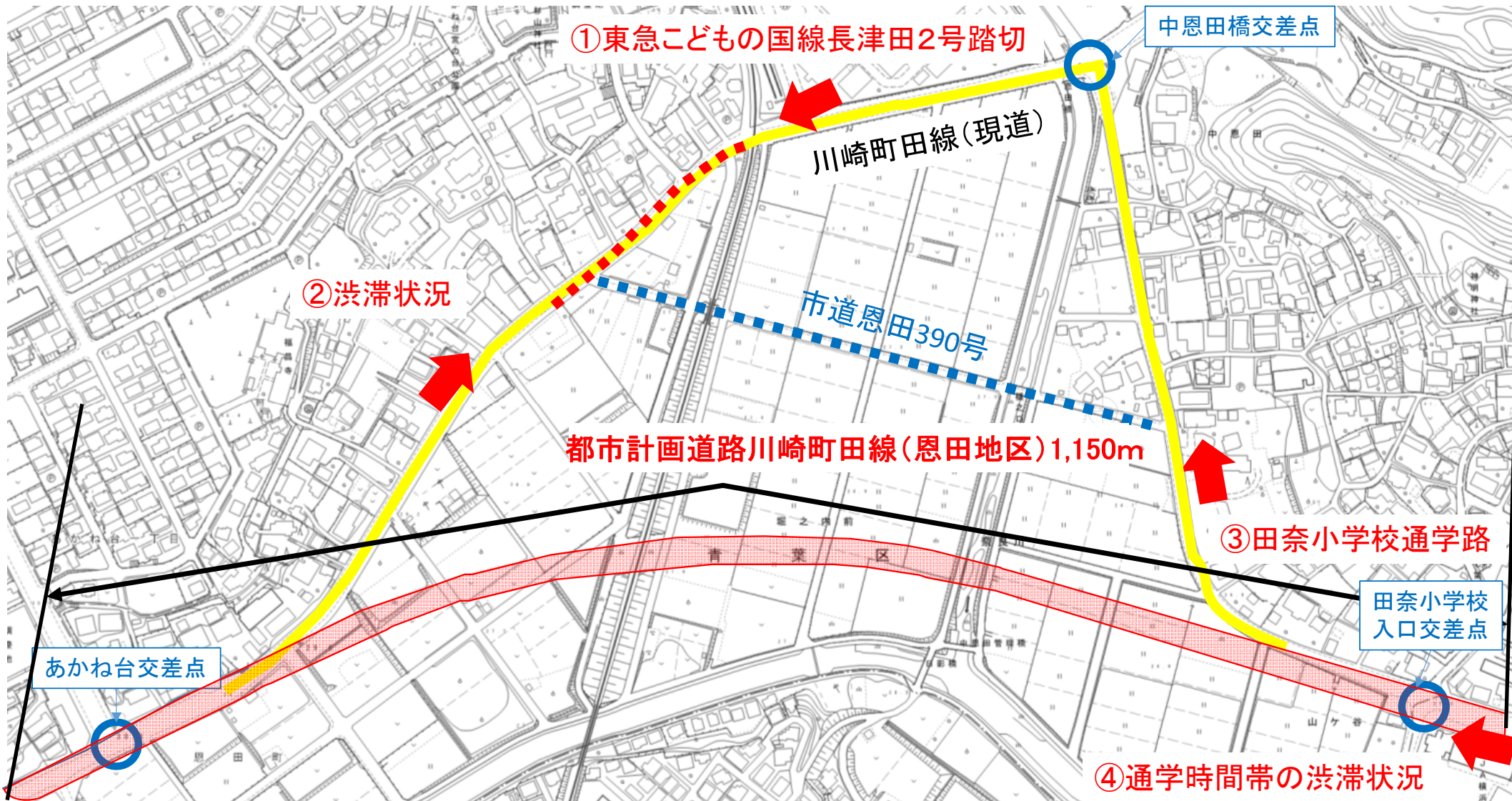
長津田駅

田奈駅

十日市場駅

凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成区間 (暫定整備済)	
未整備区間	
国道	
主要地方道	





①東急こどもの国線長津田2号踏切



渋滞の状況



田奈小学校通学路
歩道が狭く危険な状況

小特・軽車両を除く
7 - 9

渋滞が発生している

田奈小学校入口交差点
から見た渋滞状況



事業進捗状況

都市計画道路 川崎町田線（恩田地区）

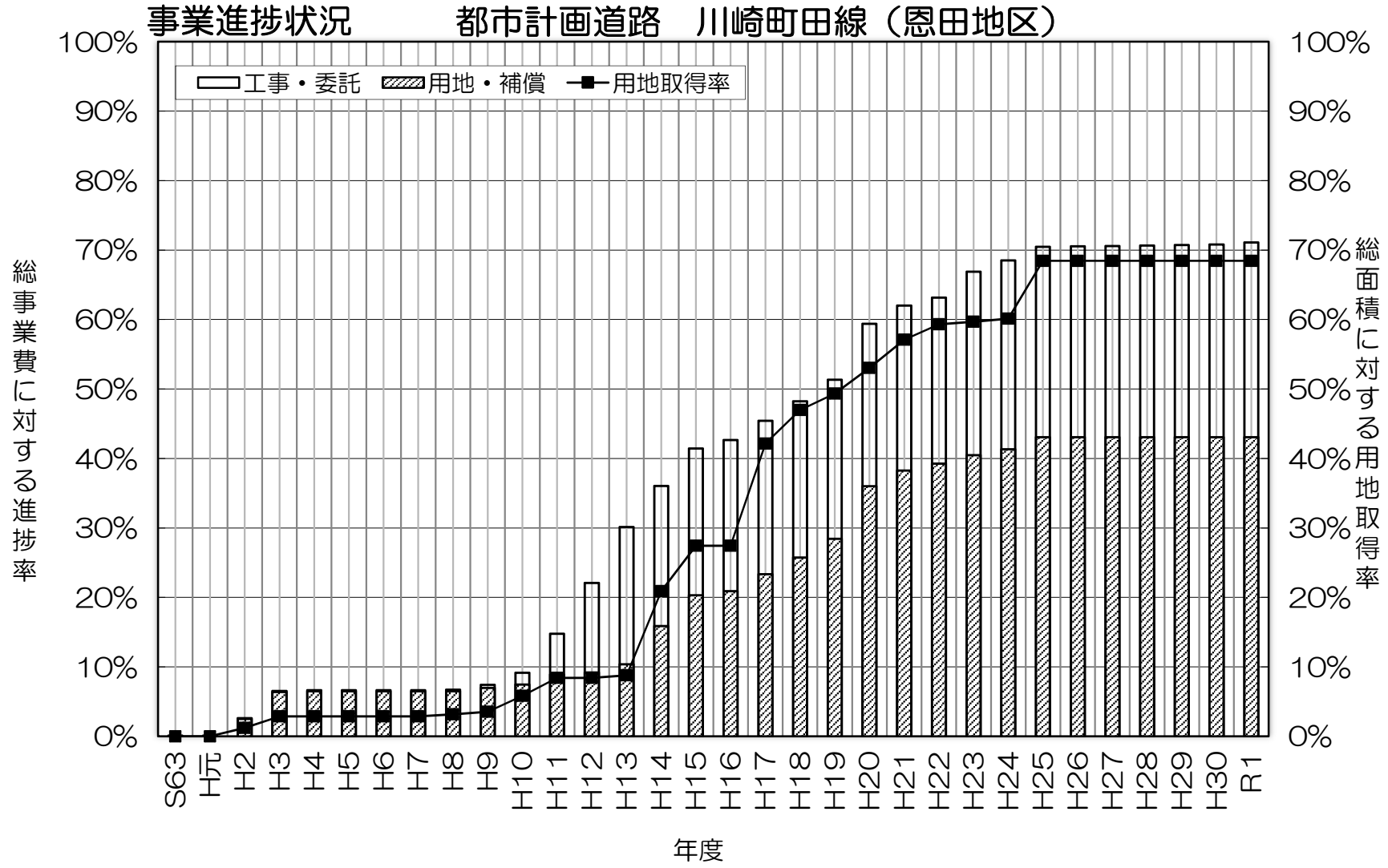
（単位：百万円）

年度	単年度事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m ²)	累計(m ²)	用地取得率※3
S63	5	0	5	0.1%	0.0%	0.1%	0	0	0.0%
H元	0	0	0	0.1%	0.0%	0.1%	0	0	0.0%
H2	136	134	2	2.6%	2.5%	0.1%	251	251	1.2%
H3	211	211	0	6.5%	6.4%	0.1%	349	600	2.9%
H4	6	6	0	6.6%	6.5%	0.1%	0	600	2.9%
H5	0	0	0	6.6%	6.5%	0.1%	0	600	2.9%
H6	0	0	0	6.6%	6.5%	0.1%	0	600	2.9%
H7	0	0	0	6.6%	6.5%	0.1%	0	600	2.9%
H8	4	0	4	6.7%	6.5%	0.2%	57	657	3.2%
H9	38	26	12	7.4%	7.0%	0.4%	81	737	3.5%
H10	95	26	69	9.2%	7.5%	1.7%	471	1,209	5.8%
H11	301	76	225	14.8%	8.9%	5.9%	542	1,751	8.4%
H12	394	16	378	22.1%	9.2%	12.9%	0	1,751	8.4%
H13	435	64	371	30.1%	10.4%	19.8%	72	1,823	8.8%
H14	320	297	22	36.0%	15.9%	20.2%	2,522	4,344	20.9%
H15	291	239	53	41.4%	20.3%	21.2%	1,363	5,707	27.4%
H16	65	32	33	42.7%	20.9%	21.8%	0	5,707	27.4%
H17	150	132	18	45.4%	23.3%	22.1%	3,057	8,764	42.1%
H18	151	129	22	48.2%	25.7%	22.5%	1,008	9,772	47.0%
H19	166	145	21	51.3%	28.4%	22.9%	487	10,259	49.3%
H20	434	410	24	59.4%	36.0%	23.4%	775	11,034	53.0%
H21	142	121	21	62.0%	38.3%	23.7%	844	11,877	57.1%
H22	62	54	8	63.1%	39.3%	23.9%	459	12,336	59.3%
H23	201	66	135	66.9%	40.5%	26.4%	79	12,415	59.7%
H24	88	45	42	68.5%	41.3%	27.2%	88	12,503	60.1%
H25	105	94	11	70.5%	43.1%	27.4%	1,734	14,237	68.4%
H26	4	0	4	70.5%	43.1%	27.5%	0	14,237	68.4%
H27	3	0	3	70.6%	43.1%	27.5%	0	14,237	68.4%
H28	4	0	4	70.7%	43.1%	27.6%	0	14,237	68.4%
H29	4	0	4	70.7%	43.1%	27.7%	0	14,237	68.4%
H30	3	0	3	70.8%	43.1%	27.7%	0	14,237	68.4%
R1	16	0	16	71.1%	43.1%	28.0%	0	14,237	68.4%
合計	3,834	2,117	1,288				12,336		

※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合

※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合



前回再評価内容との比較

都市計画道路川崎町田線（恩田地区）

	前回（H23）	今回（R2）	前回評価からの経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>あかね台中学校の開校に伴い、通学路の改善要望が増え、本地区整備を始めとする歩行者の安全確保が急務となっています。</p> <p>県道川崎町田は歩道が狭く屈曲しており、東京急行こどもの国線長津田2号踏切による渋滞も常態化しています。さらに、長津田駅北口の再開発も進んでいることから、本地区整備の必要性は高まっています。</p>	<p>東京急行こどもの国線長津田2号踏切では渋滞が発生し、迂回路として生活道路である恩田390号線が利用されています。</p> <p>恩田390号線はあかね台中学校や田奈小学校の通学路として使用されており、歩道が狭く、危険な状態であるため本地区整備を始めとする歩行者の安全確保が急務となっています。</p>	
事業進捗率	63%	71%	+8%
用地取得率	59%	68%	+9%
供用等の状況	—	—	—
事業の進捗見込	<p>本計画道路のバイパス部分は農地の中に位置し、既存用水路の切り回しなど、道路整備後の農業継続のための協議に時間を要しています。</p> <p>渋滞解消と安全確保が課題とされていた住宅地が接する現道拡幅区間は、用地の取得が進んだため、今年度田奈小学校入口交差点付近の改良工事に着手します。</p> <p>バイパス区間に関しては、地元農業団体との協議を進め、引き続き用地取得を進めます。</p>	<p>平成26年度から平成30年度までの間、事業費確保ができませんでした。令和元年度から国費の重点配分事業に位置付けられたことから、これまで以上の進捗を見込んでいます。</p> <p>用地取得率は68%であり、令和2年度も用地買収を見込んでおります。また、令和2年度は既買収区間の工事を実施し、令和3年度以降は引き続き用地買収及び、工事を実施していきます。</p>	<p>令和2年度は、既に用地取得済みの箇所の実施しています。</p> <p>また、令和3年度以降は、引き続き用地取得を実施するとともに、橋梁工事および道路築造工事を実施していきます。</p>